

## J Aバンク静岡における地域密着型金融の取組状況（平成 26 年度）

J Aバンク静岡（静岡県下 J Aと静岡県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、J Aバンク静岡 3 か年計画に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

今般、平成 26 年度における地域密着型金融の取組状況について、以下のとおり取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援

#### （J Aバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク静岡は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### （1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク静岡は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 27 年 3 月末時点における J Aバンク静岡の農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は 37,137 百万円（うち農業経営向け貸付金 33,365 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は 15,110 百万円を取扱っています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）J Aバンク静岡が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

#### 【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

	27 年 3 月末現在
農業	33,365
穀作	1,601
野菜・園芸	7,380
果樹・樹園農業	2,433
工芸作物	5,962
養豚・肉牛・酪農	1,732
養鶏・鶏卵	506
養蚕	-
その他農業	13,749
農業関連団体等	3,771
合計	37,137

※ 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

※ 「農業関連団体等」には、J Aや経済連とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	27年3月末現在
プロパー資金	23,351
農業制度資金	13,786
うち農業近代化資金	4,653
うちその他制度資金	9,132
合 計	37,137

- ※ 「プロパー資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- ※ 「農業制度資金」には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が 利子補給等を行うことでJAバンク静岡が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
- ※ 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	27年3月末現在
日本政策金融公庫資金	15,110
そ の 他	-
合 計	15,110

- ※ JAバンク静岡では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取扱っています。

(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク静岡では、地域の農業者との関係を強化し、農業を振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者と情報共有を行い、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内18JAの本支店には34名の「担い手金融リーダー」が配置され、支店の活動をサポートしています。

信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充・強化を図っています。

## 2 担い手のライフサイクルに応じた経営支援

J Aバンク静岡は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取り組みを行っています。

### (1) 新規就農者の支援

J Aバンク静岡では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】 (単位：件、百万円)

	平成 26 年度 実行件数	平成 26 年度 実行金額	平成 27 年 3 月末 残 高
青年等就農資金	29	393	496
就農支援資金	43	458	3,039
J Aニューファーマー支援資金	4	10	56
合計	76	862	3,591

### (2) 6次産業化に向けた農商工連携の推進

J Aバンク静岡では、中央会、経済連などと連携し、生産者・J Aと加工流通業者との商談会の開催など、農業6次産業化に向けた農商工連携に取り組んでいます。

【商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加 団体数	総来場者数	内容
静岡県農業・食品 産業交流会	平成 26 年 11 月 7 日	日本政策 金融公庫	25 団体	104 名	当会取引先が参加し、公庫 が集めたバイヤーに対し、生 産物のPRと販売についての 商談を行いました。
ワテラスマルシェ	平成 26 年 11 月 21 日	ワテラスマルシェ 事務局	28 団体	約 2,000 名	「静岡セレクション」として県 行政が認定した県内農畜産 物・加工品をPR販売しまし た。
ふじのくに総合食品 開発展	平成 27 年 1 月 21 日	静岡県・ 静岡県JAグループ・ しずおか地産地消 推進協議会他	211 団体	1,230 名	資金相談対応を行いました。
東海四県JAグルー プ食の大商談会	平成 27 年 2 月 4 日	東海四県信連	91 団体	1,417 名	東海四県地域の農畜産物等 を一堂に集め、バイヤーとセ ラーの商談の場を提供しまし た。

### (3) JAバンク静岡講演会・セミナー等の開催

JAバンク静岡では、融資先のお取引先様や系統団体を招いたセミナーを開催し、異業種間の情報交流を促進しています。

#### 【平成26年度講演会・セミナー開催実績】

講演会名	参加対象者	主催者	参加団体数	内容
6次産業化支援セミナー (平成26年9月8日)	本会取引先、 農業法人協会会員、 農業生産者、JA等	中央会 経済連 信連	80団体	題目1「内陸のフロンティアを拓く取組」 2「商品開発と売るための仕掛け～お客様にえらんでいただくために～」 3「6次産業化とアグリビジネスについて」 4「農地中間管理事業について」

### (4) 経営不振農業者への経営改善支援

JAバンク静岡では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取組んでいます。

#### 【平成26年度の農業者への経営改善支援等の取組実績】

(単位：先)

		期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	事業計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先①		5	1	-	5	20.0%	-
要注意先	うちその他要注意先②	11	6	1	8	54.5%	9.1%
	うち要管理先③	1	1	-	1	100.0%	-
破綻懸念先④		1	1	-	1	100.0%	-
実質破綻先⑤		4	4	-	4	100.0%	-
破綻先⑥		-	-	-	-	-	-
小計(②～⑥の計)		17	12	1	14	70.6%	5.9%
合計		22	13	1	19	59.1%	4.5%

※ 期初経営改善支援取組先及び債務者区分は平成27年3月末時点でのものです。

### 3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク静岡では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

#### (1) 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

J Aバンク静岡では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取扱っています。

#### 【平成 26 年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 27 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	-	-	104
畜産特別資金	-	-	80
合計	-	-	184

※ 「農業経営負担軽減支援資金」は、営農に必要な資金の借入により生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取扱っています。

※ 「畜産特別資金」は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取扱っています。

### 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク静岡では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 災害被災者への支援

J Aバンク静岡では、東日本大震災による被災者への支援のため対策資金を設置しているほか、個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しています。

(単位：件、百万円)

取組事例	J A名	内 容	件数	金額
静岡県信連担い手農業者 金融支援対策の実施	静岡県信連	原油・肥料・飼料価格等の高騰 への対応を目的とした、農業資 金借入者に対する利子助成	利子助成件数 158	利子助成額 1.8
東日本大震災緊急特別対 策利子補給の実施	静岡県信連	東日本大震災による被害者支 援を目的とした、農業資金借入 者に対する利子補給	利子補給件数 18	利子補給額 0.3
平成 23 年台風 15 号緊急対 策利子補給の実施	静岡県信連	平成 23 年台風 15 号で罹災した 農業者に対する農業資金の利 子補給	利子補給件数 135	利子補給額 1.0
平成 24 年台風 4 号静岡県 災害緊急特別対策利子補 給の実施	静岡県信連	平成 24 年台風 4 号で罹災した 農業者に対する農業資金の利 子補給	利子補給件数 65	利子補給額 0.4
J Aバンク静岡利子助成 の実施	静岡県信連	原油・肥料・飼料価格等の高騰 への対応を目的とした、農業資 金借入者に対する利子助成	利子助成件数 272	利子助成額 5.5

取組事例	J A名	内 容	件数	金額
J Aバンク静岡保証料助成の実施	静岡県信連	原油・肥料・飼料価格等の高騰への対応を目的とした、農業資金の借入者が静岡県農業信用基金協会に支払う保証料の助成	保証料助成件数 678	保証料助成額 87.2
平成25年茶凍霜害静岡県災害緊急特別対策保証料助成の実施	静岡県信連	平成25年お茶の凍霜害への対応を目的とした、農業資金の借入者が静岡県農業信用基金協会に支払う保証料の助成	保証料助成件数 17	保証料助成額 0.1
平成26年雪害静岡県災害緊急特別対策保証料助成の実施	静岡県信連	平成26年雪害による被害への対応を目的とした、農業資金の借入者が静岡県農業信用基金協会に支払う保証料の助成	保証料助成件数 6	保証料助成額 0.1
合計 (利子補給・保証料助成)			1,349	96.4

取組事例	J A名	内 容	件数	実行金額
平成26年2月雪害緊急支援資金の対応	J A 三島函南	大雪被害を受けた組合員に対する低利資金対応(三島市の利子補給あり)	5	13
平成26年2月の大雪による農業施設被害に対する支援資金の対応	J A 伊豆の国	J Aグループの保証料助成、利子助成による低利資金対応	2	9
平成26年2月雪害対策資金対応	J A 御殿場	大雪被害を受けた組合員に対する特別金利での復旧資金融資・利子助成	12	49
J A大井川H25年度凍霜害対策資金	J A 大井川	H25年度凍霜害で農作物の被害を受けた組合員に対する低利資金対応(行政の利子補給あり)	13	94
合計			32	165

## (2) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク静岡は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県内 540 校の小学 5 年生（約 3 万 3 千人）に配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下 J Aでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

### 【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動内容
J A伊豆太陽	野菜（サツマイモ）栽培・収穫体験
J A三島函南	学校給食への地元野菜提供
J Aあいら伊豆	収穫体験（キウイフルーツ・みかん）
J Aなんすん	アグリスクール（農産物栽培・収穫、調理体、茶手揉み、稲刈り等）
J A御殿場	水稻栽培体験
J A富士市	野菜収穫、水稻栽培、茶手摘み・手揉み等の体験
J Aしみず	農業体験スクール（農作物栽培・収穫等）、学校への飲み茶提供
J A大井川	農業体験スクール（稲作体験、調理体験等）
J A遠州夢咲	学校への飲み茶提供、農作物等を題材とした作品（図画・書写）展示会
J A遠州中央	グリーンツーリズム（農作物収穫・調理体験）
J Aとぴあ浜松	農業体験（野菜収穫、出荷調整、販売、調理体験等）
J Aみっかび	稲作体験、学校へのみかん提供

以 上